

令和4年度第1回小金井市長期計画審議会

日 時 令和4年1月27日（金）午後6時30分～午後7時56分

場 所 小金井市役所本庁舎第一会議室

出席委員 13人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 萬 羽 郁 子 委員

委 員 高 松 央 介 委員 田 中 千鶴枝 委員

田 端 佑 也 委員 天 野 佳 奈 委員

檜 山 渚 委員 木 場 征 夫 委員

小早川 良 信 委員 鈴 木 琢 真 委員

須 藤 吉 章 委員 福 平 恵 一 委員

浅 野 智 彦 委員

欠席委員 2人

井 寺 喜 香 委員 林 博 志 委員

事務局 市長 白井 亨

企画財政部長 天野 建司

企画政策課長 富田 絵実

企画政策課係長 中川 法子

企画政策課主任 前坂 悟史

傍聴者 1人

（午後6時30分開会）

◎富田企画政策課長 ただいまから令和4年度第1回小金井市長期計画審議会を開催いたします。

本日はお忙しいところ御出席をいただきまして、ありがとうございます。委嘱が終わりまして会長が選任されるまで司会進行を務めさせていただきます企画政策課長の富田と申します。どうぞよろしく願いいたします。

詳しくは後ほどとなりますが、本審議会では会議録を作成するため録音をさせていただきます。御発言をいただきます際には、恐れ入りますが、最初にお名前をおっしゃっていただきますように御協力をお願いいたします。

本日は、井寺委員と林委員から欠席の御連絡を頂戴しております。また、檜山委員にはオンラインで御参加をいただいております。

会議の定足数につきましては、小金井市長期計画審議会条例第5条第2項に、委員の半数以

上で成立することと定められてございます。現時点で、15人中13人の御出席をいただいておりますので、会議は成立していることを御報告申し上げます。

それではまず最初に、お配りしております資料の御確認をお願いいたします。

まずお手元の資料から、次第、委員名簿、資料番号1から6、委任状、基本構想・前期基本計画の冊子、令和4年度行政評価の冊子をお配りしております。不足はございませんでしょうか。御説明を進める中でも、もし不足などございましたら、遠慮なくお声かけくださいませ。

続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

まず初めに、事務局を代表して企画財政部長の天野より御挨拶を申し上げます。

◎**天野企画財政部長** 皆さん、本日はお忙しい中、そしてまた厳しい寒さの中、第1回長期計画審議会に御参加いただきまして、誠にありがとうございます。私は、企画財政部長の天野です。どうぞよろしく願いいたします。

第5次基本構想・前期基本計画の策定は、長期計画審議会の皆さんをはじめ、多くの市民の方々と市民参加を行い、さらにコロナ禍の社会における審議も重ねてまいりました。そして、議会におきましても長く多くの議論があり議決された最上位計画であります。この第5次基本構想において、まちづくりの計画がどのように進んだのかということが大事でありまして、また、皆さんと一緒に力を合わせて話し合いをする審議会とするための条例を改正させていただきました。したがって、まちづくりの報告として、また皆さんとまとめてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

◎**富田企画政策課長** 続きまして、担当職員を紹介させていただきます。

企画政策課係長の中川でございます。

◎**中川企画政策課係長** 係長の中川でございます。よろしく願いいたします。

◎**富田企画政策課長** 続きまして、企画政策課主任の前坂でございます。

◎**前坂企画政策課主任** 前坂です。よろしく願いします。

◎**富田企画政策課長** こちらのメンバーで進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、委嘱状の交付となります。こちらなんですが、本日は机上に配付を事前にさせていただいております。こちらの配付をもちまして、委嘱状の交付とさせていただきたいと思っております。

机に置かせていただいております委嘱状と書かれた用紙を御覧ください。そちらに記載をされておりますとおり、令和5年1月27日、本日付で長期計画審議会の委員に委嘱をさせていただきます。任期につきましては、2年間となっております。長期にわたりますが、どうぞよろしく願いいたします。

委嘱に当たりまして、小金井市長より御挨拶を申し上げます。市長の白井でございます。

◎**白井市長** 改めまして、こんばんは。

本日はお忙しい中、そして、部長も言っていましたが、本当に寒い中、長期計画審議会へ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は、ちょうど2か月前になるんですが、11月27日の市長選挙を経て市長に就任いたしました白井亨でございます。新たな長期計画審議会、今日が第1回目ということでございまして、その設置に当たり、簡単に私のほうから御挨拶をさせていただきます。

小金井市では、令和4年3月、皆様にお配りした厚い冊子ですね、市の最上位計画である第5次小金井市基本構想・前期基本計画を策定いたしました。この策定に当たりましては、本当にたくさんの方々に御協力をいただいたところです。また、この計画案の策定に当たりましては、前期の審議会の皆様にも大変な御尽力をいただきまして、ありがとうございました。私も当時、市議会議員でしたので、全ての会議ではございませんでしたが、この計画策定の約2年間、いろんな若い人たちを集めてのワークショップであったりだとか、会議そのものの傍聴であったりだとか、この策定の経過も見せていただきました。非常に熱い御議論をいただいたところです。

現在は、この計画に基づいて市政運営が行われているわけですが、この基本構想・前期基本計画に書かれてある目標を達成するために、随時、取組の改善であったりだとか見直しというのも図っていかねばならないと考えているところでございます。ですので、この長期計画審議会の皆様におかれましては、今の本市の施策の状況を御説明をし、それについて様々な視点から御意見、御議論をいただきたいと思っております。

最上位計画というと、冊子も厚いので非常に堅苦しいといいますか難しいなど感じる場所もあるかと思うんですが、どちらかというと、それぞれの皆さんの立場で日々小金井市で生活を営む、もしくはこの小金井市で過ごす中において、お気づきの点であったりだとか、アイデアだったりだとか、おかしいなと思うところとか、そういったことを忌憚なく遠慮なく御意見を言っていただくことが重要だと思っております。

言うまでもなく、市政そして住民自治というのは、主役は市民でございます。市民参加というのは、行政が何かを一方的にお願いするものではなく、行政と市民の皆さんが対等な立場で協力し合ってまちをよくしていこう、まちをつくっていこう、こういうことだと認識しておるところです。ですので、遠慮なく忌憚のない御意見を出していただいて、御議論いただきたいと思っております。

みんなでまちをつくるということをしっかり進めてまいるためにも、皆さんの御意見が非常に重要となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げまして、簡単ですが御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

◎ 富田企画政策課長 続きまして、本日初回となりますので、委員の皆様から自己紹介をいただけたらと思います。名簿順に私のほうからお名前をお呼びしますので、お一人ずつお名前と委員の区分、公募の方でいらっしゃる方または団体推薦でいらっしゃる方などそういったことや、御所属先や、このような委員の御経験のある方はそういったものなども簡単に御紹介をい

ただけたらうれしく思います。

それでは、恐れ入りますが、高松委員からお願いできますでしょうか。

◎高松委員 よろしく申し上げます。高松と申します。

こういった委員会に委員として参加させていただくのは初めてでございます。私自身は3年前に小金井市に引っ越してきて、今、1歳と3歳の子供を育てさせていただいて、非常にすてきなまちで、よりよくするために私にできないかなということ、公募市民委員として、今回参加させていただいております。

どうぞ、2年間ですか、長い期間となると思うんですけど、どうぞよろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

続きまして、田中委員、お願いいたします。

◎田中委員 田中千鶴枝と申します。よろしく願いいたします。

私のほうは、昨年度小金井市の産業振興プラン策定委員会をやらせていただきまして、そのときは小金井市ってどんなまちだろうと興味があって参加させていただいたんですけども、そのつながりもあって、今回の委員にもならせていただきました。

小金井市に住み始めてから今10年目ぐらいなんですけれども、少しずつどんなまちかな、課題とかいいところ、両方見えてきたかなと思っていますので、微力ながらこの委員を通じて小金井市に貢献していきたいなと思っています。よろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では、田端委員、お願いいたします。

◎田端委員 改めまして田端と申します。よろしく願いいたします。

小金井市には去年の7月から在住となっております、まだ1年も満たないような状況ではあるんですけども。

所属としましては、都内の都市のほうのIT企業に勤めておまして、ただリモートワークをしておりますので、ずっと体は小金井市にある形です。子育てだったりとか、リモートワークする住みよい環境というところを考えて、小金井市に移住してきたところが経緯になります。

こうした委員についても今回初めてなっております、あと、個人的な活動としてシビックテック団体、シビックテック小金井という名前で活動を始めておまして、白井市長にもいろいろお世話になったりとかしながら活動しております。そちらのほうもいろいろ御一緒できたらうれしいなと思っています。

よろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では天野委員、お願いいたします。

◎天野委員 天野佳奈と申します。

小金井市には2年前に参りました。今、2歳と0歳の子供がいて、11月に生まれたばかりで育児休業中ですが、いい機会だなと思って応募させていただきました。

今所属としては、都内の大学の職員をしておりますが、二、三年前に転職をして、それまでは酒類業界のメーカーで調達業務を担当しておりました。

引っ越してからまだ期間は浅いんですけども、保育園なども行かせていただいております。すごく住みやすくていいまちだなと思う反面、これはこうあってほしいなと思うところもあったので、今回、微力ながら受けさせていただければと思います。

よろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

ではオンラインの樫山委員、お願いできますでしょうか。

◎樫山委員 本日は都合がつかずにオンラインの参加となりまして失礼いたします。

小金井市には6年前ぐらいに引っ越してきました。今は私自身はちょっと仕事をしながら3人の子供を育てております。

小金井市はすごくすてきなまちで、すごく住みやすいところだなと思って気に入って暮らしていますので、そのまちをよりよくするために少しでもお力添えできればと思います。委員をさせていただくことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 樫山委員、ありがとうございます。

では続きまして、木場委員、お願いできますでしょうか。

◎木場委員 木場と申します。

現在、シルバー人材センターの代表理事長やっております。2年間、ひとつよろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では、小早川委員、お願いします。

◎小早川委員 私は、小金井市社会福祉協議会というところで職員をしております小早川と申します。よろしく申し上げます。

委員みたいなのは、今、空き家対策の検討委員をやっていたり、その前は障害者の市のほうの実行委員会の委員をやらせていただいたりしております。福祉の分野が専門の職場ですので、この場でそういったことの見解が言えたらいいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では、続いて鈴木委員、お願いいたします。

◎鈴木委員 多摩信用金庫価値創造事業部地域支援グループの鈴木と申します。

私は、三鷹市内の店舗で4年間、あと小平市内の店舗で4年間、直近2年間は武蔵野市役所の産業振興課に出向しておりました。事業者支援というところに取り組んでおりました。昨年4月に多摩信用金庫に戻ってきました。府中市市民協働推進会議の委員や国分寺市地域産業活

性化プラン推進委員会等にも参加させていただいております。また、これから2年間、いろいろと小金井市のことを考えて取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では、須藤委員、お願いいたします。

◎須藤委員 須藤吉章と申します。私は自宅も小金井市なんですけども、今回は小金井市商工会の推薦ということで参加させていただいております。商店とか工業、事業の関係からの推薦になっていまして、この辺の視点からの意見を言えればなと思っています。よろしくお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では、福平委員、お願いいたします。

◎福平委員 小金井青年会議所の福平と申します。

私は小金井で生まれ育って38年がたちました。仕事も小金井市内で設備工事の仕事をしながら、青年会議所というところに所属して、実際にまちづくり、人づくり、そういったいろいろなことを青年会議所でもやっていますけれども、そのことでいろいろ得たことも、今回の長期計画審議会で、いろいろ発信できたらと考えています。よろしくお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では続きまして、萬羽委員、お願いいたします。

◎萬羽委員 東京学芸大学の萬羽郁子と申します。

私は今、小金井市の子ども・子育て会議のほうの委員もしております。ふだんは学芸大学で、教員養成なので、家庭科の住生活というところを担当していて、住生活の分野では、家の中の住まいのことも扱うんですけども、地域での暮らしとかというのもすごく大事な分野になりますし、私自身も小金井市民なので、そういうところにも学びながら、何かお役に立てばなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では渡邊委員、お願いいたします。

◎渡邊委員 渡邊嘉二郎と申します。かじろう、リンゴをかじろうの嘉二郎と覚えていただければと思います。

法政大学に8年前まで勤めていて、現在、名誉教授ということで法政大学といっても小金井キャンパスでしたので、小金井との関わりが非常に長くございました。それで、第5次の長期計画審議会にも浅野先生と一緒に参加させていただきまして、そういうこともあって、今回、お声がかかったのかなと思っています。

2年間、よろしくお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

では浅野委員、お願いいたします。

◎浅野委員 浅野智彦と申します。よろしく申し上げます。

私は教育委員として前期に引き続きこちらの委員会に選任されて参りました。

10年ほど前になりますでしょうか。市民参加推進会議という委員会の委員を務めたことがあります。そのときに、天野部長や白井市長と御一緒させていただきました。そのときの一番大きな課題だったのが、若い方々にいかに市政に興味を持っていただいて、こういった委員会に参加していただくかということだったんですね。そのことを振り返って、今日の様子を拝見させていただくと、若い委員の方がこんなに増えて、市の最高計画を立案したり管理したりする大切な会議に、これだけ若い方々が多く参加されていることに非常にありがたく、うれしく思う気持ちです。

どうぞよろしくお願ひいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

皆様、ありがとうございました。

委員名簿の中で、市の職員分について欠員となっておりますが、こちらについては後ほど御説明をさせていただきたいと思っております。

続きまして、次第の2番、会長及び職務代理者についてを議題といたします。

まず、会長につきまして、長期計画審議会条例では、本審議会の会長を委員の互選によって決めることとなっております。会長の職務としましては、会務を総理し審議会を代表し会議の議事進行を行っていただきます。

この会長の選出方法について、御意見ございましたらお願ひいたします。

浅野委員。

◎浅野委員 推薦ではいかがでしょうか。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

ただいま推薦という御意見をいただきました。皆様、推薦による決定とすることとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

それでは、どなたか御推薦をいただけますでしょうか。

浅野委員、お願ひします。

◎浅野委員 前期の委員を務めまして、前期の会長の見事な采配が私の頭に残っております。今期も渡邊嘉二郎委員に会長をお願いできればと考え推薦いたします。よろしくお願ひいたします。

◎富田企画政策課長 ただいま、渡邊委員を会長にとの御推薦がありました。皆様、御意見はよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

それでは、会長互選につきましては、渡邊委員を選出することと決定いたしました。

渡邊会長から、会長就任の御挨拶をお願いいたします。

◎渡邊会長 改めて渡邊嘉二郎でございます。

若い皆さんがいますので、ぜひ和やかな楽しい会議になって、しかもそれが市の将来に寄与できるような、そんな会議体になれば、この会議が存在した価値がかなり上がるかなと思っておりますので、ぜひ皆さんの貴重な御意見を拝聴したいと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは会長ということでございますので、以後の議事の進行に当たらせていただきます。

続いて職務代理者の指名ということでございますが、職務代理者というのは長期計画審議会条例の規定に基づいて、私、会長が指名するということになっています。

私としては、同じく学識で、他の委員会の御経験もある萬羽委員をお願いしたいと思いますですが、皆さん、よろしゅうございますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎渡邊会長 それでは、職務代理者として、萬羽委員を指名させていただきます。

萬羽委員、一言、御挨拶をお願いします。

◎萬羽職務代理者 職務代理者に指名いただきました萬羽と申します。

市の中にはいろいろな方々が、世代も子供から高齢の方まで、いろんな方々がいろんな立場で生活をしていると思うので、この会議でもそういう多様な人々の視点で皆さんと意見が交わせたらなと思っております。

よろしくをお願いします。

◎渡邊会長 ありがとうございます。よろしくをお願いします。

それでは、次第の3、諮問についてを議題としてまいりたいと思います。

今日はキックオフの会ですので、諮問の内容について、事務局からかなり細かくお話があるかと思うんですけども、それを受けて、これから次回以降、検討していくことになると思いますので、よろしくをお願いします。

事務局、お願いいたします。

◎富田企画政策課長 それでは、長期計画審議会条例に基づきまして、市長より諮問の手続に入らせていただきます。

恐れ入りますが、市長と渡邊会長は御起立ください。

それでは、市長から諮問をお願いします。

◎白井市長

令和5年1月27日

小金井市長期計画審議会 会長 様

小金井市長 白井 亨

諮 問 書

小金井市長期計画審議会条例第2条第1号の規定に基づき、下記の事項を諮問します。

記

1 諮問事項

第5次小金井市基本構想・前期基本計画の推進及び効果検証について

2 諮問趣旨

第5次小金井市基本構想・前期基本計画の目標達成に向け、市が実施する令和4年度施策評価に係る外部評価について、長期計画審議会の意見を求めます。

よろしく申し上げます。

◎**渡邊会長** はい、確かに拝受いたしました。

◎**富田企画政策課長** ありがとうございます。

諮問の手続は以上となります。

大変恐縮でございますが、市長は所用によりまして、こちらで退席をさせていただきます。

(市長退席)

◎**富田企画政策課長** それでは、渡邊会長、引き続きよろしくお願ひいたします。

◎**渡邊会長** それでは続きまして次第4の会議の運営等についてを議題といたします。会議のルールについて最初に決めておく必要がありますので、事務局のほうから、どうやるのかを説明していただければと思います。お願ひいたします。

◎**富田企画政策課長** 皆様、資料1を御覧ください。長期計画審議会の運営について、この資料の4つの項目について説明をさせていただき、1及び4については、どのような方法にするかを本日決定させていただきたいと思ひます。

まず、1、会議録作成の基本方針等についてです。お手元の資料2も併せてごらんいただきたいと思ひます。市民参加条例と条例施行規則の抜粋が記載されております。会議録については、条例第7条第1号において、附属機関等の会議録を公開するよう努めなければならないと定められています。会議録の作成方法は、規則第5条に従って、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の3つのうち、どれにするかを決めていただきたいと思ひます。事務局といたしましては、前期の長期計画審議会と同様に、全文記録で作成をさせていただきたいと考えております。

説明のほうは続けさせていただきます。

続きまして資料1の2、会議の公開については、市民参加条例第6条の規定により、長期計画審議会も含め、附属機関等の会議は原則として公開となります。

続きまして、資料1の3、会議の傍聴については、資料3の小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領に従って運営をしていきたいと考えております。

資料1の4、「意見・提案シート」については、後ほど説明をさせていただきます。

まずは、ここまでの内容について御確認をいただきたいと思ひます。

説明は以上となります。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

今、事務局から、会議録について3つの方法があるけれども、事務局の提案としては、全文記録でお願いしたいという御提案がございました。正確を期す意味でもそれがよろしいんじゃないかなと思いますが、委員の皆さん、いかがでしょうか。全文記録ということでよろしゅうございますか。

(「異議なし」の声あり)

◎**渡邊会長** それでは、御異議ないようですから、全文記録と決定いたします。

続いて、会議の公開それから会議の傍聴については、条例等で規定されていることであるため、このように決めさせていただきたいということですが、これもよろしゅうございますよね。

(「異議なし」の声あり)

◎**渡邊会長** それでは、そのように決定いたしたいと思います。

引き続き、事務局から説明をお願いいたします。

◎**富田企画政策課長** それでは、資料1の4の「意見・提案シート」について説明をさせていただきます。

これは、傍聴の方の御意見をお聞きするために設置するものですが、この会議で設置をするかどうか、そしてその取扱いを御協議いただきたいと思います。資料の4番、こちらが実際の意見・提案シートとなっておりまして、そちらも併せて御覧ください。

前期の長期計画審議会での取扱いは、意見・提案シートを設置した上で、記名があるものは氏名も含めて正式資料として、無記名の場合は参考資料とさせていただき、内容については、委員の方から審議に取り上げたいと申出があった場合は審議を行うという扱いをしております。この取扱いについても御協議をいただければと思います。

また、御提出の期日の関係ですが、会議開催の1週間前までに届いたものについては、事前配付資料として委員の皆様へ送り、それ以降に届いたものは、当日配付をすることといたしております。

説明は以上となります。

◎**渡邊会長** 事務局から意見・提案シートの取扱いについて説明がございました。これも前期と同様の取扱いということではよろしいでしょうか。記名の場合には資料とする、無記名の場合には参考資料とするということで、よろしゅうございますね。

(「異議なし」の声あり)

◎**渡邊会長** そのように決定いたします。ありがとうございました。

続いて、次第5の基本構想・基本計画についてを議題といたします。今回は初めて長期計画審議会に参加される方がほとんどではないかと思っております。したがって、まず、長期計画審議会の役割、そして基本構想・基本計画とは何か、その概要について知っていただきたいと思っておりますので、事務局のほうから説明をお願いいたします。

◎**富田企画政策課長** まず初めに、長期計画審議会の役割について御説明させていただきます。

資料5番の小金井市長期計画審議会条例を御覧ください。

長期計画審議会は、これまで小金井市の基本構想・基本計画を策定することを目的に設置された会議体でした。このたび、令和4年3月に第5次基本構想・前期基本計画が策定されたことに伴い、条例の一部を改正し、令和4年度からは条例第2条第1号にある基本計画の推進及び効果検証を長期計画審議会の役割として追加いたしました。そのため、今期の皆様には計画の効果検証のため評価を行っていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、長期計画審議会条例では委員数は16人とされているところですが、今期の主な目的が外部評価による効果検証であること、また、別途行政による自己評価を行っていることなどに鑑みまして、条例第3条第2項第6号に定める市に勤務する職員については、今期は委員としては委嘱しないこととしております。

また、第5次小金井市基本構想・前期基本計画について説明をさせていただきます。資料といたしましては、お配りをしております冊子「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」を御覧ください。

まず、1ページを御覧いただけますでしょうか。

基本構想の目的と策定意義・役割について記載されております。

第5次小金井市基本構想・前期基本計画は、小金井市の最上位計画として位置づけられているものです。基本構想は、市政活動の総合的かつ計画的な取組の指針となるものであり、市の様々な取組がこの計画に基づいて行われています。

続いて2ページを御覧ください。計画期間についてです。

第5次基本構想は、令和3年度から令和12年度までを計画期間とする10年間の計画となっております。基本計画については、計画期間を前期5年と後期5年に分けて策定されるものであり、そのため、現在は第5次基本構想・前期基本計画と呼ばれております。実施計画については、計画期間を3年とし、財政的な裏づけとして主な事業の計画を示すものです。計画の構成は大きく3層構造になっており、上から順番に、基本構想、基本計画、実施計画という構成になっております。これらの計画がまとめて長期総合計画と呼ばれているものでございます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響などから、計画の策定時期を延伸し、令和3年度からの計画ではございますが、最終的には令和4年3月に策定されたものとなっております。

12ページを御覧ください。小金井市の基本構想における10年後の将来像についてです。10年後の将来像は「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」です。この将来像を実現するため、基本構想では6つの政策、基本計画では29の施策が定められています。

続けて、23ページを御覧ください。前期基本計画の概要についてです。基本計画は、基本構想における10年後の将来像を実現するため、6つの政策に基づき、29の施策を具体化・体系化したものです。基本構想に次ぐ上位計画であり、各行政分野における個別の計画や事業

などを整理・総括しています。また、施策ごとの指標の進捗管理により、成果や課題を見える化し、有効な行政評価による質の高い市政運営の実現を目指すものです。計画全体の目標は、将来像を踏まえ、「住みやすい」「住み続けたい」と思う市民の方を1人でも増やすことを目標としています。

24ページを御覧ください。こちらは計画体系図となっております。市のイメージキャラクターであるこきんちゃんの写真がついていると思いますが、ちょうどこの部分が基本計画であり、施策評価の対象となるところです。

続いて、具体的に29の施策について説明させていただきます。

25ページを御覧ください。こちらが施策の体系です。まず、分野として6つの政策が示されています。環境と都市基盤、地域と経済、子どもと教育、文化と生涯学習、福祉と健康、行政運営の6つとなっております。そして、政策に基づき29の施策が示されており、その構成が右のページに記載をされております。

具体例を見ながら御説明をいたしますので、29～30ページを御覧ください。

施策1、みどりと水の環境整備です。まず、左上に施策ごとに目指す姿が示されており、これがその施策における目標です。その下に、その施策の現状と課題が記載されております。現状については、令和2年4月時点の取組状況となっております。右のページには、指標と施策の方向性が示されています。指標については、その施策における現状値と目標値が定められています。この指標については原則として、施策全体の成果をはかるアウトカム指標、その施策における主な事業の結果を示すアウトプット指標がそれぞれ設定されております。アウトカム指標についてはアンケート調査を採用しており、毎年、無作為に選ばれた市民の方2,000人を対象としたアンケートを実施しています。例えばこの施策1におけるアウトカム指標は「みどりと水の環境整備に対する満足度」であり、アウトプット指標が「公園環境美化サポーターの登録者数」となります。後ほど施策評価についても説明をいたしますが、この指標の結果と行政による自己評価の結果を踏まえ、皆様には施策評価を行っていただきたいと考えております。

次に、第2期小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、簡単に説明をさせていただきます。ページが少し飛びますが、89ページを御覧ください。

国全体において少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めをかけるため、地方自治体では地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定することとされています。これまでは計画の目的が異なることから別々に策定していた基本計画と総合戦略ですが、それぞれの施策は重なる部分が多く、一体的に進めていくことが効果的であるということから、第5次基本構想・前期基本計画からは計画を統合し、一つの計画として定めています。そのため、長期計画審議会の皆様に行っていただく施策評価は、この総合戦略の評価も兼ねていただくこととなりますが、2つの計画は一体となっているので、評価自体は施策評価として行っていただければと考えております。

91ページ以降には、総合戦略における基本目標などが示されております。地方自治体においては、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の総合戦略を勘案し策定するよう努めなければならないとされているため、それらを反映した形で策定されています。総合戦略に関しましては、国においても随時見直しが行われており、国の動向にも注視をしながら、基本計画と一体的に推進していきたいと考えております。

計画についての説明は以上となります。

◎**渡邊会長** ありがとうございました。

ただいま、我々の仕事のバックグラウンドのお話がありました。基本的には、この施策のところにある指標の結果を行政のほうで自己評価されて、それを我々が見ながら外部からの視点でコメントする、あるいは評価していくと、そういうことになるかと思えます。

何か今の説明の中で御質問等があればお願いしたいのですけれども、いかがでしょうか。何でも結構だと思います。

田端委員。

◎**田端委員** 今回の審議会で施策について評価をするというところなんですけれども、施策についての評価というのは、この施策がいい、悪いみたいなところの話をすればよいのか、それとも目標の設定だったりとかというところまで遡って議論をしてよいのかみたいな、今回の審議計画でどこまでを範囲とするのかというところを伺えたらなと思えます。

◎**前坂企画政策課主任** 基本的にはもう既に目標が全ての施策に設定されておりますので、皆様には毎年の指標の結果ですとか市の自己評価を見ていただいて、その目標にどれくらい近づいているのか、ちゃんと前に進んでいるのか、どういうふうなイメージを持っているかということ、一つ一つの事業についてこの事業がいい悪いという視点より、皆さんの御自身の経験やふだん思っていることを言葉としていただければと思っております。その上で、実際事業をどうしていくかというのは、行政のほうにフィードバックさせていただいて、それを受けて来年度の予算ですとか事業に反映していくという流れを考えておりますので、よろしく願いいたします。

◎**田端委員** ありがとうございます。

◎**渡邊会長** 田端さん、よろしゅうございますか。

◎**田端委員** はい。

◎**渡邊会長** ほかにございますか。

高松委員、お願いします。

◎**高松委員** 素朴な疑問で恐縮なんですけど。行政自身が自己評価をして、それをこういった委員会で客観的に検証するということだと理解をしているんですが。そもそも自己評価をするということは、日本というか世の中の的に一般的なことなのか、感覚的には第三者的なそういう評価機関が評価をしたものをベースに市民とこういった場で検証するほうが、より何かこう厳格というか、厳しいチェックになるんじゃないかと思ったりもしたんですけれども。あまりこ

ういったところになじみがないので、その辺って一般的なんですか。別に小金井市が特別なわけだけじゃなくて、大抵の市がそういったやり方をしていると理解していいのでしょうか。

◎前坂企画政策課主任 今御質問いただいた件ですが、市によって評価自体をやっているかやっていないかということも含めて結構運用はばらばらです。ただ、やっている自治体に関しては、小金井市のように自己評価と皆さんのような外部評価を合わせてやっているところもありますし、完全に自己評価のみという自治体もございます。なので、一般的かということなかなか難しいんですけども、それぞれの自治体の考え方で、その施策をどういうふうこれから進めていくかを考えた上でよりよい方法をやっていくということで、今回小金井市としては、外部評価していただくのが初めてなので、試行ではないんですけども、やりながらいろんな御意見をいただくとおもうので、そういった評価以外の部分でいただいた意見も別の形で残していくようなことも、事務局としては検討しているので、何かございましたら御意見をいただければと思います。よろしく申し上げます。

◎高松委員 分かりました。ありがとうございます。

◎富田企画政策課長 事務局から補足させていただきます。

こちらは総合計画になるんですけども、市の計画の立てつけとしましては、この下に各分野ごとの個別計画がまたあります。その個別計画を策定したり評価をしているところにも外部委員の方が入られて評価をしているといったこともございますので、小金井市のほうでは今まで総合計画については自己評価ということで進めてきたような経過があります。

ですので、今回初めて皆さんの御意見を伺うところになりますので、初めて御評価をいただくので、なかなかどの分野にどういったところまで御意見をいただければいいのかということ、私たちも手探りでいく部分がありますし、皆様も手探りになってくる部分があるかと思いますが、まずは忌憚のない御意見をいただき、結果として取りまとめるのはどこまでを取り上げるのが適切かとか、どういった部分は附帯意見のようなもので残していくのが後々のためになるかということも、相談しながら進めさせていただければと考えておりますので、まずは御遠慮なく御意見をいただければありがたく思います。お願いいたします。

◎高松委員 分かりました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

ほかに御質問ございますか。

質問、どうもありがとうございました。これによって位置づけがよりクリアになったと思います。

続いて、次第6、施策評価についてを議題としたいと思います。事務局での説明をお願いいたします。

◎富田企画政策課長 それでは、施策評価につきまして説明させていただきます。資料としましては、冊子の「令和4年度行政評価結果」を御覧ください。

まず、1ページを御覧ください。「行政評価システムとは」という記載がございます。行政

評価とは、先ほど説明いたしました第5次基本構想・前期基本計画で掲げる29の施策を点検・評価することで、市政運営全体のまちづくりを進捗管理するものです。点検・評価の対象は、29の「施策」とその施策を達成するための「事務事業」であり、それぞれ事業によって、「施策評価」、「事務事業評価」と呼んでおり、その2つを合わせまして「行政評価」としております。

施策評価については、行政による自己評価と長期計画審議会による外部評価によることといたしまして、事務事業評価については、個別の事業になりますので、行政による自己評価により実施させていただくこととしております。これらの行政評価を通じて、目標達成に向けた改善や見直しを行うことを目的としております。

資料の4ページを御覧ください。こちらには施策評価の概要が示されております。項番3つ目の評価実施期間について、令和4年度については6月に行政による自己評価を既に実施しており、現在この施策評価結果は、長期計画審議会の評価を除いた速報版となっております。また、6ページから8ページを御覧ください。こちらには施策評価一覧が記載されております。続いて9ページには結果一覧が記載されております。こちらは、令和3年度実績に対する行政の自己評価を一覧にまとめたものであり、10ページ以降の各施策に詳細が記載をされております。

それでは、10ページを御覧ください。具体的な施策評価の方法について説明をさせていただきます。29の施策ごとにこちらのような「施策評価シート」を作成しております。構成としましては、PDCA方式を採用しております。先ほど説明した施策ごとの目指す姿がPlanとなっており、評価対象年度の主な取組がDo、指標の結果及び評価がCheck、次年度の施策の方向性がActionとなっております。長期計画審議会の委員の皆様には、指標の結果や行政の自己評価を踏まえ、Checkの部分にある長期計画審議会コメントの作成をお願いしたいと考えております。10ページから38ページまでの全29施策が対象となります。

今年度に関しましては、令和3年度の結果について評価をしていただきたいと思いますと思いますが、先ほど申し上げたとおり新型コロナウイルス感染症の影響で計画策定の時期が遅れてしまい、長期計画審議会のスタートもこの時期となってしまいました。今年度については、次回3月に会議を予定しておりますので、そちらにおいて評価コメントをまとめていただきたいと思いますと考えておりますが、対象の施策数も多く分野も多岐に渡ることから、進め方については事務局より今年度の分は御提案をさせていただきたいと考えております。

まず、事務局から29施策のコメントのたたき台を作成させていただきたいと考えております。その後、渡邊会長、萬羽職務代理に御確認をいただいた上で、委員の皆様はそのコメント案をメールでお送りさせていただきたいと考えております。そして、御意見などのある項目についてそれぞれ御回答をいただき、改めまして長期計画審議会のコメント案を取りまとめさせていただきたいと考えております。そして3月の審議会では、まとまったコメント案について御意見をいただき、最後に修正などがあれば、それを反映したものを今年度の答申として完成

させていただきたいと思います。

なお、いただいたコメントが上手く反映できない場合もあるかと思いますが、コメントに入り切らなかった御意見などについては、別途、資料として作成し、記録を残すような形も検討しております。

説明は以上となります。渡邊会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** ただいま施策の評価についての説明が事務局からございました。29個の施策について、長期計画審議会として評価コメントを作成するということとなります。数も多い、分野も幅広いというために、どのように書いたらよいか、またコメント案を私と萬羽職務代理者と事務局で検討させていただいて、皆さんに意見を伺うという段取りにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

今年度は特に遅れているんですね、段取りは皆さんと議論してということだと思えるんですけども、時間がないというか、長期計画審議会の結論が出るのがちょっと遅れちゃったものから、今年度については一応市でまとめてもらったのを、私たちが検討して、メールで配信して、コメントをいただいて、最終的にまとめる、そういう感じにしたいということだと思いますけれども。

これについてはいかがでしょうか。まあ時間があればちゃんと議論したいところですけども。

◎**高松委員** 異論は特にはないです。ただ、ちょっと1点確認したいのが、今回、長期計画審議会が一番最上位のもので、その下のところで個別の委員会で、それこそ具体のアクションの見直しとか評価をしているんだと思っています。今、その行政の方のほうでコメント、素案を作りますとおっしゃっていたと思うんですけども、そもそも個別の各委員会でその結果を多分評価されているんじゃないかなと思っています。なので、言いたいのは、その個別の委員会の結果がどうだったのかというのを行政の方が取りまとめて記載するようなイメージなのか、はたまた何か違うのかというところがちょっと気になりました。

◎**前坂企画政策課主任** 我々もこれから会長等と御相談させていただきたいと思うんですけども、イメージとしては、あくまでもここが一番上の施策という分野での評価なので、今御心配いただいたように各分野にはそれぞれ審議会があってその中で個別の事業というのは検討されているので、施策全体を見たときに、例えばどういった部分がうまくいっているとか、ここが足りないというような視点で、事務局もあまり案を作り過ぎないように、皆さんからのコメントを入れやすいような形のたたき台を作って、そこから考えていただいたほうがコメントを出しやすいかなと思っています。その上で、御意見をいただいたものをまとめさせていただければと思っています。先ほども言ったように、手探りな部分も正直ありますので、皆さんの感じるところをいろいろ御意見いただければと思っています。よろしく願いします。

◎**高松委員** ちょっと気になったのが、下のレイヤーで議論していたり課題だねと言っている

ところが、それをそのインプットがないままに、まあ言ってしまうと素人の僕らが何か好き勝手言うのが果たして効率的なのかなというところがちょっと気になって。整合性が取れなくなるとよくないなと思ったので。下の個別のレイヤーでどういうことが話されているのかというのがあったほうが、何かこう、より納得感というか、我々としても、ああ、こういうことが今話されているのねというふうなフィードバックとかコメントがしやすいなとちょっと思ったので。まあ、まずはやってみてということかなと理解しました。

◎渡邊会長 よろしいですか。

◎高松委員 はい、大丈夫です。

◎富田企画政策課長 度々すみません、補足してよろしいですか。

お配りしている施策評価シートの中に、行政のほうの総括ですとか自己評価の欄がございます。そういったところに、各部局のほうの事業の進捗ですとか施策の進捗に関する所感ですとか、また審議会などの御意見をいただいて特に力点を置くべき部分などについてを踏まえたコメントが基本的には盛り込まれておりますので。

逆に、これを御覧になって、もし、この部分ってでどうなんだろうとさらにお知りになりたいような御質問事項があれば、個別に御連絡いただいても構いませんので、必要な部分については担当の部局のほうに聞き取りなどをして、また、皆様にフィードバックさせていただいて参考としていただくというようなこともあるかと思っております。もし、そういう分野がありましたら、お知らせいただければと思います。

◎高松委員 むしろこの施策1の個別の委員会でどういうこと話されているかというのは、ウェブ、ホームページとかで公開されていると思っていいですよ。

◎富田企画政策課長 はい、基本的には公開をされているものです。

◎高松委員 なので、自分からここに書いてあるコメントと、より具体的にそこを確認したかったら、それを参照した上でコメントを書かせてもらう、そんな理解でいいですか。

◎富田企画政策課長 はい、お手数ですが、御覧いただければありがたいです。

◎高松委員 はい、よく理解しました。ありがとうございました。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

◎渡邊会長 どうもありがとうございました。

ほかにございませんか。田端委員、お願いします。

◎田端委員 そうですね、やはり事前情報をどれだけの市民側が収集できるかというのがポイントかなと思っておりまして、その観点でちょっと議論を遡るようで恐縮なんですけど、議事録が恐らくその役割を果たすのかなと。ほかの個別のレイヤーの審議会でどういう議論があったのかとか、どういう結論に至ったのかとかというところで、多分、議事録とかを見るイメージなのかなと想定しておりまして。そうなってくると、やはり一度拝見したことがあるんですけども、あれで概要がつかめるイメージがちょっと持てなくて、ハイライト版みたいなものがあるとなおうれしいかなというのがありますし、3番とか全体の要約のような形式のほうが、

そういった議事録の使用を想定されるのであれば、もしかしたらそちらのほうに向いているのかなというところが今考えているところでございます。

以上です。

◎富田企画政策課長 今おっしゃっていただいたのは、この長期計画審議会自体の議事録についての考え方ではなく、参考資料とした場合のほかの個別審議会の議事録の扱い方ですね。

◎田端委員 そうですね、全体的に言えることではあると思うんですけども、その議事録の目的が何なのかというところを考えた場合、ほかの人が参照したり、情報をそろえるというところを前提とした場合、あと、やっぱり見やすいというのを重視するのもよいのかなと思いました。今回でいうと、どちらかというところほかの委員会の話には確かになってしまいかなど。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

ほかの委員会、審議会も、その委員会ごとに議事録の作り方を決定してしまっておりまして、こちらのほうから違う議事録に変えてくださいという話は、申し訳ないんですが、なかなか難しい部分もあるんですね。ただ、その審議会の性質にもよるんですけども、その審議会ごとに取りまとめの報告などを出している審議会なども結構ございますので、そういった場合には、その審議会ごとの評価結果ですとかそれに対する附帯意見などつけている審議会などはそこに議論の推移がまとめられていたりすることもございますので、そちらを御覧いただくのが、細かい会議録を全て御覧いただくよりは効率がよく概要を把握できるかなと、御指摘いただいて改めて私のほうも思いました。

有益な御意見をいただいて、ありがとうございます。

今回につきましては、令和3年度の事業というものがもう完了して暇が大分たってしまっておりまして、本来は前の年度の事業の結果を翌年の予算に、策定経過などに生かせるように、本来は6月から8月ぐらいまでの期間にこの評価をいただくタイミングを取りたいと考えております。ただ令和3年度につきましては、もう時間がたってしまっておることもありまして、本来先行するべきではない部局のほうのアクションの部分まで記載されたものをお示しをしております。

ですので、皆さんの御意見をいただくとは言いながらも、実は令和5年度予算というものはもう準備のほうに入っておりますので、つぶさに後年度に反映できるものではなく、こちらと次の6月から8月に評価をいただくものを合わせて令和6年度予算の参考とさせていただくというような流れになります。ですので、大変お手数をおかけするのに恐縮ではあるんですけども、まず今回については初めての取組でもありますので、少し肩の力を抜いて、こういったものがないかを試していくという試行錯誤のようなところと、あとは、大変恐縮ですが、会議の開始がこの時期になってしまったこともあるので、事務局のたたき台を参考としていただきながら、こういったものを作っていくのがいいのかというところを、練習とまでは言わないんですけども、そういった意味でやってみていただくということを試していただけたらいいなと思っております。

来年度、6月、7月、8月で会議を開催させていただく際には、もっと皆さんの御議論があるような流れも考えたいと思っております、そちらのやり方については、会長や職務代理、また皆さんと御相談をしながら、御提案をしていきたいとは考えておりますので、そのときには、今回のようなものだけではなくて、さらなる資料とかも御提示できるように工夫していきたいと考えています。

◎田端委員 ありがとうございます。

◎渡邊会長 ほかにございませんか。浅野委員、お願いします。

◎浅野委員 今、富田さんからの補足説明で半ば答えていただいたような気がするんですが、我々の評価は、計画の運営に対してどのタイミングでどのようにフィードバックされていくのかということに関心があります。加えて、御説明にありましたように、個別の委員会によっても事業評価がなされるというんですね。教育委員会ですと秋口にその事業評価を行います。その評価もまた翌年度の計画にあるタイミングでフィードバックされていくんですが、我々の評価は、どのタイミングでどこでフィードバックされるのかということと、個別委員会の自己評価もフィードバックされるわけですが、その場合、我々がやっていることが屋上屋を架す形になっていないのかどうかということがちょっと気になりまして、その辺を教えていただければと思いますが、いかがでしょうか。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

おっしゃっていただいたとおり、ちょっと先ほどと重複する部分があるんですけども、次期、来年度の評価からは6月から8月あたりに行っていたら、市の予算というものは基本的には9月、10月以降から次年度予算のほうの準備が始まってまいりますので、御評価いただいた部分を担当部局のほうにフィードバックをし、それも併せて参考としてもらいながら次年度の施策の参考としてもらえればと考えております。

浅野先生がおっしゃられたとおり、審議会を個別の計画のほうで設定させていただいている施策ですとか計画につきましては、そちらのほうの御意見もあろうかと思えます。恐らくはそちらの部局、そちらの委員会の意見というのは比較的、各事業に対して具体的な意見が入ってくる人が多いのではないかと考えておりますので、一部、意見などが重複したりということがあろうかとは思いますが、こちらの長期計画審議会はあくまでも施策に対しての意見ということになりますので、大きなそごは生まれるものではないとは想定はしております。ですが、まず今回やってみて、そごがないかというところも含めて、そのフィードバックに対して担当部局のほうの意見なども踏まえて調整をさせていただく部分があれば、後々さらに有効なものになっていくと思っておりますので、その辺りはまた御相談させていただければと思います。

◎浅野委員 ありがとうございます。

少し、追加させていただいてよろしいですか。

◎渡邊会長 はい。

◎浅野委員 初回なのでいろいろ教えていただきたいことがあって、質問させていただくんで

すが。

例えば、少し踏み込んで言うと、我々がネガティブに評価する、ポジティブに評価するということが今後あると思うんですね。今回の速報を見ても、達成度合いが見込どおりではなかったというのがやっぱりありますよね。我々のほうで、例えば、今後これはうまくないとか、あれはうまくいったとかといったような評価をした場合、それを具体的にはどう参考にされるのかということに興味があるんですけれども。予算策定の段階でそれを参考にされるんですか。

◎富田企画政策課長 まずは第一義、直近というところだと、予算の編成の参考にされると思います。その次の段階で参考にされると考えられるのが、その個別計画の改定のタイミングなどで、参考にされていくと考えております。

◎浅野委員 分かりました。前期と後期の切れ目辺りに何かあるかもしれないということですか、それとも次の長期テーマというか。

◎富田企画政策課長 次の長期計画の策定のときにももちろんその評価ですとかそういったものは参考にはさせていただくんですが、その個別の施策のフィードバックも、個別の、この次の段階にある、その分野ごとの計画の改定の時期もありますので、これが必ずしも基本計画と一致するとは限らないこともありますので、それぞれの計画の改定段階で参考にされることもあろうかと思っています。

◎浅野委員 分かりました。

すいません、もう1点だけ。先ほどそごは起きないんじゃないかという見通しだったんですが、それはそれで安心材料ではあるんですが、もし、実際にそれを担当されている部局の自己評価と我々の評価が一致してしまうのであれば、大体一致する見込みであるとしたら、我々が評価することの固有の意味はどこにあるのかというところがもうちょっとはっきりしていただけると、私としては、納得して仕事がしやすい、そんな気がいたします。でもこれは、今すぐということではなくて、そんなふうに思いましたというコメントとして。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。

◎渡邊会長 いろいろ御意見ありがとうございます。

何か、ほかにございますか。小早川委員。

◎小早川委員 今までの皆さんの話を聞いて、私もちょっと何か大丈夫かなと、初めてのことでいろいろな不安があると思うんだけど。例えば、その下にいろんな専門の計画があって、その専門の方たちが来て、自分たちの熱い思いだったり知識がいっぱいある人たちがこういうものを作るんだと話し合ったものを上に上げて、ここのメンバーでそれはいかなものかと言われたら、どういう思いがするのかなと単純な疑問。おまえたち、そんなの分かっているのかとか、そういうふうになると、今度こちら側の意見が言いやすい環境ではなくなっちゃうんじゃないかなという心配が多分皆さんもあるんじゃないかなと、聞いていて感じていて。

下はプロたちがやっているんでしょ、その専門の人たちが作った計画だよ、そういうこ

とに対してどう評価するのかというのが多分見えてこない、言いづらかったり、言ってもどうせ無駄なんだろうという空気にならないといいなというふうに、ちょっと今の皆さんの意見を聞いて思ったところでございます。

◎**富田企画政策課長** ありがとうございます。

施策自体の評価シートを参考にしながら記載をしていただくというところもあるんですけども、今回はちょっとタイミング的に間に合わないんですけども、こちらの冊子の右上のところに設定されている指標については、毎年4月に無作為で2,000人の方にアンケート調査を行いまして、今後はその結果の数値も参考にしながら御評価をいただけるようになっていくと考えております。

こちらのほうは細かい事業とかの部分ではなくて、日々生活をされている中でどういった所感であるかというような、結構感覚的なアンケートになっています。どのくらい達成されていると感じるかというようなもので、具体的な市の事業の数字の結果に基づくアンケートの評価ではなく、日々生活をされている中で、どの程度の満足度であるかというようなものであるとか、どういった感覚を感じているかというようなアンケートになっておりまして、こちらのほうも参考にさせていただきながら、次期以降については御評価のほうをいただけると考えております。

そうしますと、例えば担当課のほうの事業が非常に進捗をしているという評価があったとしても、それを受け取った市民の方々がどう感じているかというところが、必ずしも一致しない部分もあれば、一致してくる部分もあるかもしれません。そういったところを踏まえながら、あくまでも違う視点からの意見ということで担当のほうにも捉えてもらうように伝えていくものですし、広い視点からの市民の御意見も伺ってというところでのアンケート結果を踏まえて、長期計画審議会の第三者の評価ということで伝えていきますので、専門的な御意見を持って個別の審議会で当たられている方が、もしかしたら御心配のとおり、ちょっと面白くないこともあるかもしれませんが、それはそれとして、ちょっと切り分けていただいて、内部というか近しい立場から見られている御意見と、また、ちょっと一步置いたところから感じられる、見られる意見というものが必ずしも一致しない、その両方があって市の施策がよりブラッシュアップしていくというところが、今回、委員会を設置させていただいている趣旨となるかと思っておりますので、それも含めて受け止めてもらえるように努めてまいります。

ありがとうございます。

◎**渡邊会長** 高松委員よろしいですか。

◎**高松委員** そうですね、それぞれのレイヤーで評価することに対しての是非というか、そこに対する異論は全くなくて、初めての試みであるので、やってみましょうよという気持ちでございます。なので、そこに対してはないんですけども。

ちょっとだけ最後に確認したいのは、その前後関係です。個々のレイヤーでの定点観測と、我々のこの定期的な検証というものの前後関係が、どっちが先にやるのかというところが、そ

れぞれ実はいつですかと。Aは先にやっているけど実はBはこの回の後なんだよとか、その後関係がどうなっているかということ、どういう計画なのでしょう。

◎**富田企画政策課長** 個別計画ですとかその審議会の稼働時期にもよってくるものはあるとは思いますが、多くの検証というか効果評価については、ほぼ同じ時期になってくるかと思えます。というのは、年度が終わりまして予算などが締まるのが5月の末になります。なので、細かい実績が出てくるのがやはりどの事業についても6月ぐらいになるのが一般的ですので、また、どの事業についても予算化をしていくのが9月からということになりますので、評価を行っている分野については、ほぼ同時期に並行して進んでいってしまうというところが実情になるかと思えます。

◎**高松委員** 分かりました。

◎**前坂企画政策課主任** すみません、事務局から、よろしいでしょうか。

例えば、施策の2を見ていただければと思います。循環型社会の形成という施策があります。先ほど言った成果指標、アウトカム指標のアンケートに関しては、3Rに取り組んでいる市民の割合というのをアンケートで聞いていまして、あなたはふだんちゃんと3Rに取り組んでいますかというアンケートを取った結果、当初は86.3%だったのが、令和3年度の実績では91.5%に増えています。あくまでこれは主観的なアンケートなので、自分が取り組んでいると思えばそれは〇でいいので、これが悪いというわけではないのですが、その下の1人当たりのごみの排出量というのが実は増えてしまっている。これを受けて、担当の部署ではこの評価のところに、「達成度合い」で見込んだ成果が出ていないという評価になっています。それは、専門的なところでは、目標はごみを減らすことなので、量が増えてしまったので達成できていないという評価をしているのですが。ただ、施策全体としては、市民の方にはそういう取組が大事だということは伝わっていると、なので、長期計画審議会の中で、市民の方への啓発はうまくいっているから、これをどんどん続けていってくださいというようなことを評価していただけることで、担当のほうは背中を押されるみたいなどころもあります。この事業が結果は駄目だったということだけではなくて、そういう意味で後押しするような御意見もいただければと思います。

数字を見るといろいろなことが見えてくると思うので、皆さんの御意見をいただきながら、いろいろな形を考えながら、これからこの会議の中でどういう評価がいいのかということも一緒に御協議させていただければと思っています。

◎**渡邊会長** いろいろな意見が出まして、ほかにございますか。

なければですけども、最後の議題、今後のスケジュールというところに入りたいと思いませんけれども、よろしゅうございますか。

それでは事務局のほうで今後スケジュールについてお話してください。

◎**富田企画政策課長** 事務局です。

資料6、今後のスケジュールについてを御覧ください。次回の開催の日程についてでござい

ます。皆様にメールで照会をかけさせていただきましたところ、一番多く御回答をいただきましたのが、3月23日、木曜日の午後2時からというところになってございます。場所につきましては、現在、小金井市商工会館3階のA会議室を予約しておりますので、こちらのほうを御予定いただきますようお願いいたします。

大変恐縮でございますが、3月は市議会が開催される都合上、予定がもしかしたら変更になってしまうという可能性が現段階では若干ございますことから、予備日といたしまして、3月30日、木曜日の午後6時半からを予備で現段階では候補のほうに入れていただけたらと考えてございます。大変恐れ入りますが、御協力いただきますようによろしくをお願いいたします。

また、いただいている日程調整の結果、全ての委員の方に次回御参加をいただくのが難しい状況となってございまして、御都合が合わない見込みの方には大変申し訳ございません。次回、第2回の会議に御参加をいただけない可能性のある方を中心に、次回開催前にオンライン形式などで施策評価のコメントについて取りまとめた案を事務局から御説明をするとともに、いただいたコメントについての補足ですとか、説明に対しての御質疑などをいただく機会を設けることをちょっと検討しております。どのようなやり方がよろしいかというところについては、会長、職務代理とちょっと相談をしながら、日程なども含めて検討してまいりたいと思っておりますが、ちょっとそのようなことも含めて考えて、回りの会議に御参加をいただくことができない見込みの方の御意見もしっかり反映していけるように準備を進めさせていただきたいと思っておりますので、こちらにつきましては、また、後日御案内をさせていただければと考えてございます。

今回につきましては、今年度2回ということになっておりますが、来年度につきましては評価のみを予定しておりますので、先ほど申し上げましたとおり6月、7月、8月頃の3回を開催したいと考えてございます。毎年9月頃から翌年度の予算編成が始まると先ほど申し上げましたとおりですので、その前に施策評価を求めることができましたら参考とさせていただける可能性がより広がってまいりますので、8月中に答申をいただくようなスケジュールをイメージしております。

また、前期基本計画は令和7年度までを計画期間としておりまして、令和7年度、最終年度には、後期基本計画のほうを策定をしていく必要がございます。皆様の任期は6年度までということになってございますが、7年度に議論をするための準備として、6年度のうちに市民アンケートを実施する流れとなることが予定をされるかと考えております。令和6年度につきましては、評価と併せましてアンケートの内容などにつきましても皆様の御意見をお伺いできたと考えております。6年度については、評価とアンケートの御相談ということで、ちょっと内容が増えてしまうんですけれども、会議のほうはなるべく効率よく3回程度で収められるように、また、アンケートの報告などをさせていただく場合には、アンケートの結果が取りまとめられた12月頃に1回、報告の会などを設けさせていただくということもちょっと検討してまいりたいと考えておりますので、御協力をいただけたらと考えております。

説明は以上でございます。

◎**渡邊会長** スケジュールについて事務局からお話がありましたけれども、何か御質問ございますか。須藤委員。

◎**須藤委員** 次回までのスケジュールとして、29のコメントの案をいつ頃いただけて、それをいつ頃までに返すのか、その辺は、今の時点で決まっているのでしょうか。

◎**前坂企画政策課主任** 具体的なスケジュールはお示しが難しいのですが、2月中には皆様のところへ事務局と会長等と御相談したものをお届けして、3月末が次回の予定なので、3月上旬ぐらいには1度、御意見をいただけるようなスケジュールで考えたいと思っています。作業の進み具合によって少し前後してしまうかもしれないのですが、3月上旬ぐらいには御意見をいただければと思っていますので、よろしくをお願いします。

◎**須藤委員** 分かりました。

◎**渡邊会長** よろしゅうございますか。

◎**須藤委員** もう一つ。

あまり時間がないかなど。先ほどおっしゃったように議事録まで読み込んで、それぞれに対してコメントするというにはかなり時間がないんですけれども。そのやり方はもう各自で、この用紙を見ただけでコメントしたりとか、興味があるところには、いいところまで踏み込んでコメントするとか。なかにはコメントについてはしないというか、そういうのも出てきても仕方ないと考えてよろしいですか。

◎**前坂企画政策課主任** 確かに今回時間がないので、どこまでというのがあるのですが、御質問があればそれも送っていただいて、御協力いただければと思いますので、よろしくをお願いします。

◎**富田企画政策課長** 29施策というのは、市の全分野をほぼ網羅しているような状況になりますので、御関心のある部分となじみのない部分と強弱があるかと思います。当然、御関心がある分野や御関係のある分野についての御意見についてが厚くなるということは想定をしておりますので、場合によっては、特段御意見をいただかない分野があることも、こちらといたしましては、そういうものも当然あるかと考えております。今回はお時間のない中でお願いをすることもありますので、御無理のない範囲でコメントなどをいただければ、こういう言い方は御面倒おかけするのに大変失礼ですが、今回に関しては、そういったところでも十分なのではないかと思っております。

◎**渡邊会長** よろしゅうございますか。

ありがとうございました。今日の議題、7まで全部終わりました。

今日は初回、キックオフということでしたけど、皆さんから、非常にアクティブな積極的な御発言がありまして、この会議としても実り豊かだったのではないかと思います。

特に何かあれば御発言ということで。なければ、これをもちまして第1回の会議を終了したいと思います。どうもありがとうございました。

(午後 7 時 5 6 分閉会)